

### バス研修会報告 お菓子工場見学施設「グリコピアイースト」と 人や物を運ぶ鉄道の歴史「鉄道博物館」

平成27年11月22日、総勢92名でバス研修会を行いました。

午前中に行ったグリコピアイーストは、グリコのポッキーやブリッツの製造工程が見学できるほかに、グリコのおまけ約1500点の展示があるミュージアムコーナーやチャレンジクイズコーナーもあり、楽しく学習できる施設です。まず、チョコレートができるまでのスライドを見て、ガイドさんの案内で工場見学、そしてクイズにチャレンジ。まるでクイズ番組のようなセットで、みんな必死で早押しボタンを押しまくりました。お土産にブリッツをもらいました。



グリコピアイースト。グリコのマークの前で元気にポーズ！



鉄道博物館1階歴史ゾーンには展示や36台の実物車両が並んでいます。

午後は鉄道博物館。広い会場に鉄道の歴史が学べる豊富な展示や新旧たくさんの車両が並び、見学したり、カフェでお茶を楽しんだり、各々自由に過ごしました。非常に混んでいて、帰りの車中はみんなぐったりです。

今回は募集から大変人気があり、あっという間に満員になりました。家族で参加された方も多く、内容も大人も子どもも楽しめる、身近な学びがいっぱいのバス研修会でした。

### 平成27年度 活動報告

- 平成27年
  - 4/27 第204回 運営協議会会議
  - 5/26 第205回 運営協議会会議
  - 7/31 「運営協議会だより」第61号発行
  - 8/7 第206回 運営協議会会議
  - 10/2 第207回 運営協議会会議
  - 10/11 連協イベント  
「ごみから学ぶワークショップ広場」開催  
来場者 約350名
  - 11/22 運営協議会バス研修開催 参加者 92名  
\*グリコピアイースト(埼玉県北本市)  
\*鉄道博物館(埼玉県さいたま市)
  - 12/15 第208回 運営協議会会議
- 平成28年
  - 1/31 「運営協議会だより」第62号発行
  - 2/17 第209回 運営協議会会議
  - 2/17, 22, 26, 3/2, 7, 11  
環境健康診断実施 受診者 186名
  - 3/4 委員研修 参加者 17名  
\*造幣局東京支局(東京都豊島区)  
\*紙の博物館(東京都北区)  
\*桜環境センター(埼玉県さいたま市)
  - 4/15 「運営協議会だより」第63号発行  
※3月31日発行予定が事情により遅れました。

### 委員視察研修報告

平成28年3月4日、周辺3団体の委員ら17名で、環境学習のための視察研修を行いました。

#### ●造幣局東京支局

東京支局は、コイン・勲章・メダルなどを製造、期金属製品の品質証明、地金・鋳物の分析試験を行うほか、貨幣の歴史を展示した博物館があります。日常使う貨幣にもさまざまな工夫が凝らされており、あらためて日本の貨幣の製造技術の高さには驚きました。日本歴代の五輪メダルも展示されています。

#### ●紙の博物館

洋紙発祥の地、東京・王子に1950年に財団法人として設立後、1998年に飛鳥山公園に移転。人類の歩みに大きな役割を果たし、日常生活に欠かせない紙について、多くの資料、展示があります。日本では、紙を作る原料の60%以上は古紙が使われているそうです。

#### ●さいたま市桜環境センター

さいたま市にある4つのごみ処理施設の中で最も新しい昨年稼働開始した施設で、啓発施設や温浴・リラクゼーションできる余熱体験施設、リサイクルセンターなどが併設されています。

さいたま市も最終処分場が不足しており、ここではガス化溶融炉により、市内の他施設の灰も溶融しスラグやメタルを生成、資源として活用しています。

編集・発行/武蔵野クリーンセンター運営協議会  
〒180-0012 武蔵野市緑町3-1-5  
武蔵野クリーンセンター内  
電話: 0422-54-1221  
●武蔵野市ホームページ  
<http://www.city.musashino.lg.jp/>

\*この広報は、再生紙を使用しています。

# 武蔵野クリーンセンター 運営協議会 だより 63

武蔵野クリーンセンター運営協議会とは  
1984年施設建設時に地域住民の安全と権利を守るために設置された  
周辺住民3団体が参加するクリーンセンター運営の監視役。

### CONTENTS

- P1...特集:地域で取り組むごみ減量活動  
広げよう! ゴミューニティ
- P3...工事中 NOW 地上部分の建物ができてきました 他
- P4...平成27年度活動報告  
バス研修会 委員研修



### 周辺3団体の地域の違い

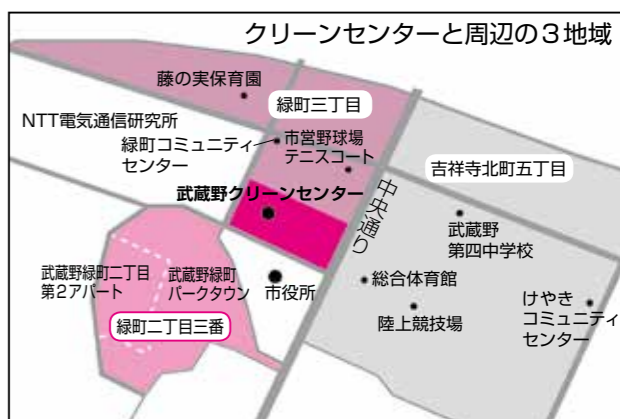
クリーンセンター運営協議会に参加する周辺3団体、吉祥寺北町五丁目町会、緑町三丁目町会、武蔵野緑町二丁目三番地域住民協議会は、地域の成り立ちや住宅事情等により、それぞれごみ減量活動の取り組みも違います。

吉祥寺北町五丁目は、クリーンセンター建設の際にできた「武蔵野のごみ問題を考える連絡会」に関わった人々も多く住んでいます。

緑町三丁目は、クリーンセンターが緑町三丁目の南にあることもあり、毎日煙突を目に前してクリーンセンターやごみ問題を身近に感じています。

吉祥寺北町五丁目と緑町三丁目は、戸建て住宅が中心で共通点もありますが、北町五丁目では集団回収をする団体が3つあり、緑町三丁目は町会で美化活動を行うなど、違いがあります。

緑町二丁目三番地域は、公団武蔵野緑町団地が平成3~15年にわたる建て替えにより武蔵野緑町パークタウンとなり、平成12年に団地内に都営武蔵野緑町二丁目第2アパートが併設された、新しい住民が多い、賃貸の集合住宅地です。いずれも自治会が中心になって活動しています。



### ゴミューニティはまちづくり

吉祥寺北町五丁目は、町内会ではなく有志など3団体が集団回収をしています。有志の団体「資源回収北町第二地区」の代表にうかがいました。

昭和54年クリーンセンター建設用地をめぐる北町五丁目を中心に結成された「武蔵野市のゴミ問題を考える連絡会」が、ごみ減量と会の活動資金確保のために集団回収を始め、昭和59年クリーンセンター稼働開始とともに連絡会を解散後も集団回収は続け、昭和62年に現在の名に改めました。

活動の主旨は、ご近所同士のふれあい・支えあい

### \*編集後記\*

今回、地域で取り組むごみ減量活動を取材させていただき、地域住民の意識の高さに改めて感心しました。新クリーンセンターの建設に伴い、高度な建物・機械に並んで、忘れてはいけない大切なものは、人の知恵と工夫、そして活動から生まれる人の繋がりは、とても素晴らしい。運営協議会も市と市民の皆様とともに考えていきたいと思っています。(島森和子)

## クリーンセンター周辺3団体が取り組むごみ減量活動

	吉祥寺北町五丁目	緑町三丁目	緑町二丁目三番地
地域・施設・町内会と自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世帯数 約750世帯</li> <li>・戸建てが多い。</li> <li>・都営住宅、市営住宅がある。</li> <li>・大野田小学校・武蔵野第四中学校</li> <li>総合体育館・陸上競技場</li> <li>けやきコミュニティセンター</li> <li>・吉祥寺北町五丁目町会：昭和59年発足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世帯数 約350世帯</li> <li>・戸建てが多い。</li> <li>・NTT 電気通信研究所</li> <li>緑町コミュニティセンター</li> <li>・緑町三丁目町会：昭和31年発足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんど集合住宅(2団地)</li> <li>UR都市機構武蔵野緑町パークタウン 855世帯</li> <li>都営武蔵野緑町二丁目第2アパート 240世帯</li> <li>・武蔵野緑町公団住宅(昭和32年入居開始)が平成3～15年に建て替えられ、武蔵野緑町パークタウンになる。自治会：昭和34年頃発足。平成12年、都営住宅併設。自治会：平成12年発足。</li> </ul>
主なごみ減量活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>集団回収</b>*1 実施団体：有志2団体、社宅1団体</li> <li>・資源回収北町第二地区 月2回</li> <li>・扶桑資源回収有志の会</li> <li>・(株)竹中工務店 吉祥寺家族寮</li> <li>●<b>けやきコミュニティセンターお茶碗リユースコーナーを設置</b> (クリーンむさしのを推進する会)</li> <li>●<b>牛乳パック回収ボックス設置</b></li> </ul> <p>どちらのコミセンでもフリーマーケットをしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>町内一斉清掃</b> 実施団体：町内会</li> <li>町会の大きな事業の一つとして「町内一斉清掃」を実施。参加人数は約100名と多く、落ち葉やごみを収集している。</li> <li>●<b>防犯パトロール時の美化活動</b> 実施団体：町内会</li> <li>毎月第2木曜日、役員が町内をパトロールし、学童の下校時の見守り、不審者対策、高齢者へのひと声活動とともに美化活動を実施。</li> <li>●<b>緑町コミュニティセンター牛乳パック回収ボックス設置</b></li> </ul>	<p>すべて自治会で実施している。</p> <p>&lt;武蔵野緑町パークタウン&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>集団回収</b> 月2回。収入は自治会活動費に。</li> <li>・<b>牛乳パック回収ボックス設置</b> 回収した牛乳パックは、集団回収に加えられる。</li> <li>・<b>団地一斉掃除</b> 年1回催しとして、安否確認訓練と炊き出し訓練を同時に実施。参加約400名</li> </ul> <p>&lt;都営武蔵野緑町二丁目第2アパート&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>集団回収</b> 月2回</li> <li>・<b>団地内清掃</b> 毎月1回</li> </ul>

が大事に育てられることへの期待と、限りある資源を大切に、地球温暖化を防ぎ、地球環境を改善すること。現在303世帯が参加し、北町三丁目194世帯と合同で行っています。旗当番は14名のボランティアで行い、収入のほとんどは年2回還元品(古紙のトイレットペーパーなど)として会員へ返し、会の必要経費も捻出しています。また、広報を作りさらに会員拡大を図っています。

緑町三丁目町会では、実施している防犯パトロール時の美化活動としてパトロール中にごみ拾いをしています。ごみ量は月により変動があるものの減少傾向にあり、町会では活動の効果と考えています。

武蔵野緑町パークタウンでは、平成3～15年の建て替えの際、引っ越しで出る大量の段ボール箱の処理対策として集団回収を始めました。共益費で処理すると莫大な費用がかかりますが、集団回収をすれば自治会の収入になり活動費にできます。

緑町二丁目第2アパートでは、集団回収の他、毎月1回団地内の清掃をしています。ご近所で協力して団地を掃除をすることで、ご近所と気軽に身のまわりの環境を話し合うこともできます。

3団体の方法は少しずつ違いますが、地域で取り組むごみ減量活動は、大きなごみ減量・資源化ができるだけでなく、ご近所同士のつながりや支え合いが育てられ、コミュニティを築きます。

ごみは誰にでも共通の問題です。ごみを通して年齢や性別、立場をとわず地域について話し合えるコミュニティは、まちづくりといえます。ゴミコミュニティをさらに広げて、住み良い安全・安心なまちづくりにつなげていきたいものです。

### ※1 武蔵野市の資源物集団回収

武蔵野市では、古紙類・古着・アルミ缶などを資源物として回収することで、資源の有効活用やごみ減量、ごみ問題に対する市民の関心を高める目的で、市内の住民団体による集団回収事業を進めています。実施団体に対して1kgあたり10円、その回収業者に2円の補助金を年2回に分けて交付しています。また、実施団体に周知・理解をもらうため、説明会や研修会の開催、広報紙の発行、必要なぼり旗の貸し出し、団体発行の広報の印刷、活動に対する相談などを行っています。平成27年3月末時点で、192団体と16業者が登録しています。平成26年度の回収・資源化量は3,327t、武蔵野市のごみ発生量の約7.6%が資源化されました。(平成27年版事業概要 廃棄物の抑制・再利用と適正処理より)

工事中  
NOW

2016.3  
建物が立ち上がってきました

建物も立ち上がり、中もプラント工事で平行して内装が進んでいます。3月13日に催された『クリーンセンターとあそび』では、1256名の来場者があり、大勢が工事を見学しました。クリーンセンターへの関心の高さがうかがわれます。新工場棟は今年中には完成し、年末には試運転に入ります。工事の進み具合は、3月時点で66.8%です。



3月から3階の屋根部分の設置が始まりました。



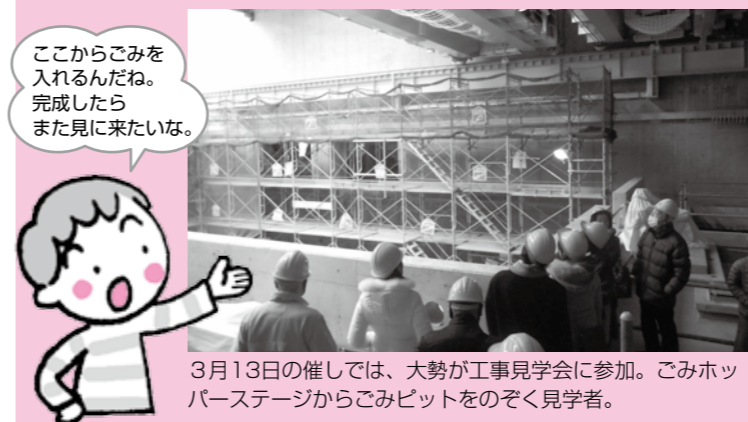
2階見学者コース部分の工事。右側が市役所。



ごみ収集車が、地下のごみ投入ステージに入るスロープ。



ぼくたちごみ収集車は、ここが入口なんだね



ここからごみを入れるんだね。完成したらまた見に来たいな。



3月13日の催しでは、大勢が工事見学会に参加。ごみホッパーステージからごみピットをのぞく見学者。



東側の中央通りから見た建物。テラコッタルーバーの壁面ができてきてきました。仮囲いが目を引きます。

※工事の進行状況は、クリーンセンターのホームページでもご覧になれます。

## ごみの分別にご注意を！ 安全なごみ処理は、正しい分別から

昨年末、燃やすごみの収集で、ごみ収集車から発火がありました。燃やすごみを投入した際に、押込み板の隙間から出火が確認されたものです。直ちに消火活動を行い、作業員やごみ収集車に被害は発生しませんでした。消防署の原因調査の結果、ごみ袋の中から多量のスプレー缶や使い捨てライターが確認されました。

重大な事故につながる恐れがあるので、スプレー缶やライターは中身を使い切ってから有害ごみとして出してください。また、中身を使い切ることが難しい場合は、袋に「残あり」と記載してください。

収集車での事故は街中でも起こります。また、作業員にも危険が及びます。安全にごみ処理ができるよう、正しい分別をお願いいたします。

## 施設・周辺整備協議会の開催

新しいクリーンセンターの周辺整備やまちづくりについて検討する、施設・周辺整備協議会の第10回会議が3月2日に開催され、今後の進め方について話し合いがもたれました。

第三期で検討した内容を確認し、将来を見据えて課題について活発に議論されています。

4月末には第三期の検討をまとめ、報告書を出す予定です。

今回は、4月27日午後7時からクリーンセンターで開催されます。傍聴希望の方は、クリーンセンター3階見学者ホールに直接お越しください。